

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期 金曜日1限	教室名	第2校舎202
担 当 教 員	粕渕 賢志	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
「リハビリテーションの概念」「関節の運動および構造」「姿勢と歩行」「障害学」「評価法」などについての基礎を学び、リハビリテーションの全体像と展開を構造的に学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて記述試験を行う。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
『リハビリテーション医学 改訂第4版』/全国柔道整復学校協会監修/南江堂						
《授業外における学習方法》						
次回の授業内容を告知するため、事前に教科書内容の確認をとること。						
《履修に当たっての留意点》						
受講にあたって予習、復習を十分に行うこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの概念について理解し、説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの定義および理念を理解し、障害に対するリハビリテーション医学の対応について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節の運動・筋肉とその作用を理解し、運動にどう関わっているかを説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習	
		各コマにおける授業予定	関節の構造や筋肉の働きを学ぶ。また、運動のコントロールに関わっている脳の働きを理解し、運動制御の仕組みを学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢と歩行の基礎を理解し、説明できるようになる。上下肢の運動および機能解剖について理解する。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習	
		各コマにおける授業予定	姿勢と歩行について学ぶ。上下肢・脊柱の運動と機能解剖を理解する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	足関節の運動と機能解剖について理解する。障害の構造や病態を理解し、説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習	
		各コマにおける授業予定	足関節の運動と機能解剖を理解する。障害の病態や構造を学び、病態および原因などを理解する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節拘縮および疼痛について理解し、説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習	
		各コマにおける授業予定	関節拘縮および疼痛の病態や原因について学び、理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋力が増強する理論を理解し、筋力増強プログラムが作成できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	筋力概念や筋の収縮様式について学び、筋力増強プログラムの作成方法を理解する。			
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	障害モデルにおける評価の目的を理解する。評価法の1つである身体計測について理解する。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	患者の障害モデルにおける評価の目的を学び、評価の具体的な方法を理解する。本講義では身体計測の具体的な方法について学ぶ。			
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	評価法の1つである関節可動域測定の基本を理解し、説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	評価の具体的な方法を理解する。本講義では関節可動域測定の具体的な方法について学ぶ。			
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	評価法の1つである徒手筋力測定法の基本を理解し、説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	評価の具体的な方法を理解する。本講義では徒手筋力測定の具体的な方法について学ぶ。			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の運動発達の基礎を理解し、説明できるようになる。心理評価および電気生理学的診断法の基礎を理解する。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	小児の運動発達の過程について学び、理解する。心理評価および電気生理学的診断法の基礎を学ぶ。			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢性の運動障害について理解し、説明できるようになる。画像診断の意義を理解する。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	中枢性運動障害の基礎を学び、その評価法などについて理解する。画像診断の意義や種類について学び、その基礎を理解する。			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	協調性、失認・失行、日常生活の基礎を理解し、その評価方法を説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	本講義では協調性テスト、失認と失行の評価法、日常生活の評価について学ぶ。			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの治療法の1つである理学療法の基礎を理解し、説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	理学療法の実施過程を構造的に学び、具体的な治療法である運動療法や物理療法の基礎について理解する。			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの治療法の1つである作業療法および言語療法の基礎を理解し、説明できるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	作業療法および言語療法の実施過程を構造的に学び、具体的な治療対象について理解する。			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	本講義内容について、内容を理解した上で説明ができるようになる。	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
	各コマにおける授業予定	全講義の復習を行い、講義内容の理解度を測る。			